



マアジ 太平洋系群

主な漁業と漁期

定置網: 周年
まき網: 周年
棒受け網: 周年

生態

マアジは日本各地に分布し、内湾や瀬に定着する瀬付き魚群と沖合いを回遊する魚群があります。前者は体色が黄色がかった体高が高く、キアジと呼ばれ、後者は黒みがかった流線形でクロアジと呼ばれることがあります。

●産卵場・産卵期

東シナ海と太平洋沿岸域で産卵する群れがあり、東シナ海では2~4月、太平洋沿岸域では5月以降に産卵が行われます。

●食性

仔稚魚は動物プランクトン(甲殻類)を主餌料としますが、成長に伴い魚食性が強くなり、成魚ではイワシ類、オキアミ類、イカ類などを主に捕食します。摂餌は明け方と日没時に活発になります。

●成長・成熟

寿命は5歳とされていますが、20歳以上の個体も確認されています。成長は資源水準によって異なりますが、1歳で尾又長18cm、2歳で尾又長24cm程度に成長します。近年では1歳で50%、2歳以上で全てが成熟します。

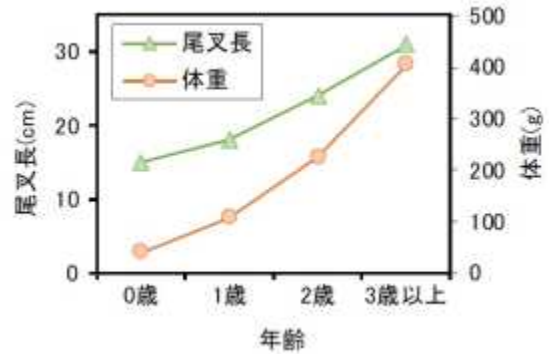


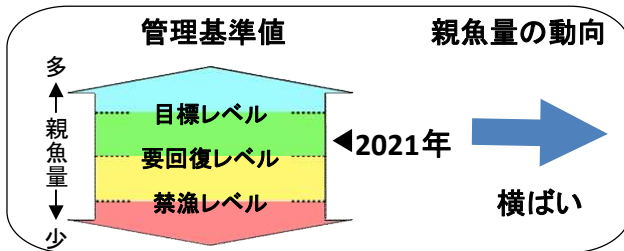
図 年齢と成長の関係

(引用元: 令和4年度マアジ太平洋系群の資源評価)

漁業・資源動向

【資源】

マアジ太平洋系群は、最大持続生産量(長期的に漁獲量が最大となる資源状態を維持することで得られる漁獲量以下、MSY)に基づいた資源管理を行っています。



- 1 本系群の資源量は近年は横ばいで推移しており、2021年の資源量は5.0万トンと推定されています。
- 2 2021年の親魚量は2.7万トンと推定され、MSYを実現する目標レベル(6万トン)を下回っています。また、本系群に対する漁獲圧はMSYを実現する水準をわずかに下回っています。親魚量の動向は、過去5年間の推移から横ばいと判断されています。

国の資源評価へのリンクはこちら
簡易版

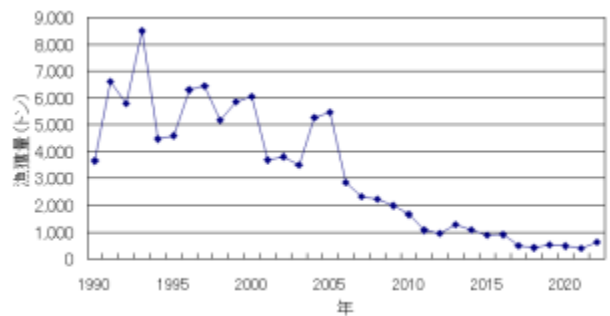
https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2022/simple_2022_03.pdf

詳細版

https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2022/details_2022_03-Maaji-P.pdf

【漁業】

- 1 静岡県では主に定置網やまき網で漁獲されています。
- 2 県内の漁獲量は1980年代に1,000トン以下となった後に増加傾向に転じ、1993年には8,500トンとなりました。その後、再び減少傾向となり、近年は1,000トンを下回る低調な漁獲となっています。
- 3 漁獲物の年齢構成は0,1歳魚が主体となっています。



本県のあじ類漁獲量の推移

担当者の一言: 旬は初夏~夏。定置網等で漁獲された地物の美味しいマアジを刺身やフライでどうぞ!

問合せ先

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場 0558-22-0835